

広報



玄海



あおば保育園・門松づくり

CONTENTS

新年のあいさつ	2～3
ホームステイ体験報告	4～5
平成16年 第4回玄海町議会定例会報告	6



vol. 66
2005. **1**



玄海町長
寺田 司

新年のごあいさつ

**明けましておめでとございます。
皆様お揃いで輝かしい新年をお迎えの1月1日
お慶び申し上げます。**

さて、昨年一年間を振り返ってみますと、やはり目まぐるしい一年でした。玄海町が合併をしないで独自の町づくりを決めた一昨年六月以降、合併関係市町村の話が進むにつれて広域圏組合事業の取扱いがどうなるか皆様にも大変ご心配をおかけ致しました。一年以上かけて昨年末ようやく解決いたしました。新聞報道にありましたように、玄海町と七山村は新しい唐津市に一定額の負担金を支払って事務を委託し、今まで通り事業は続けられることとなりました。ただ、介護保険事務は、法令の定めにより玄海町

が行うことになりました。肥前斎場、上場地域農業開発事業、呼子地区に建設中の汚泥再生処理センター事業につきましても、事務を委託することで今まで通り進められることになりました。

ところで、新しい年の展望についてでございますが、今年は、玄海町がいよいよ新たな出発をする年にしたいと思えます。国の三位一体の改革、地方分権が進められる中で、玄海町が合併をしないで独自の町づくりを進める為には、これまで通りの行財政運営ではいけません。玄海町の将来を展望し

た中長期の財政見通しの下に、町の行政改革大綱に沿った行財政の改革を進め、補助金や委託料、物件費等の見直しに取り組みなければなりません。

今、現在の総合計画の成果について検証を進めておりますが、その結果を踏まえて新しい総合計画を立て、効率的、重点的な実施計画の具体化を進めていきたいと思います。

そうした状況の中で、町民の皆様のご理解とご支援をいただきながら新年度事業に取り組んで参りたいと存じます。

今年度の主な事業としては、上水道完備、下水道は南部処理場の整備と、北部処理場整備へ向けての取り組み、玄海園の移転改築に伴う敷地造成、建物建築着工、町道普恩寺く小加倉線、外津く値賀川内線(新規)の用地買収、設計等を予定しています。

町の主幹産業である農業、漁業の振興、商工観光業の振興は、何れも大変厳しい状況に直面いたしておりますが、町民の皆様

とお互いに知恵を出し合い、議論を交わしながら、対策を施していきたいと思えます。

町の将来の発展の基礎となる教育の充実、文化、スポーツの振興についても、十分な取り組みが必要な時であると思えます。

今年の四月から唐津青翔高等学校がスタートいたしますが、地元高校として皆様と共に大切に育成支援していきたいと願っています。

九州電力(株)から事前了解願いが出されているプルサーマルの問題については、現在、九州電力による住民へ理解を得る活動が続けられておりますが、国の安全審査が終了した後には町民の皆様へ国からの説明を求めご議論をいただいた後に町としての方針を決めさせていただきますと思います。

新しい年が町民の皆様にとって、良い年となりますよう御祈念申し上げます。私のあいさつといたします。

町民の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、また、日頃は本町議会に對しまして、暖かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

玄海町議会議長

岩 下 孝 嗣



昨年の我が町を顧みますと、9月の第3回定例会より、町民の皆様への情報提供の一つとして、本会議の状況をケーブルテレビによる録画放送を始め、更に12月の第4回定例会よりは、本会議の録画放送に加え、インターネットを利用し本会議及び予算特別委員会の生放送を配信することになり、より多くの情報を公開しようとしてきました。なお、第4回定例会の最終日には、議員発議による提案で、議員定数を現在の16人から4人減らし、12人とする条例を、全会一致で可決し、本年の議員選挙から12人でスタートすることとなりました。これは、急変する社会情勢、また

町の財政状況の見通しを勘案したとき、行財政の改革を断行することが必要であるとし、自ら議員定数を削減し、その姿勢を示すことにより町政に寄与すべきとの見解から行ったものでございます。

また、九州電力が玄海原子力発電所3号機で2010年度までを目途に国策で進められているプルサーマルを実施することを決定し、5月28日に安全協定に基づく事前了解願いが佐賀県及び本町へ提出され、現在原子力発電所と共生している町として安全確保を最優先し調査・研究を続けています。

現在、我が国で進められております「三位一体の

改革」は、真の地方自治の確立に向けた「地方分権改革」であり、地方公共団体の自己決定、自己責任の幅を拡大し、自由度を高めて創意工夫に富んだ施策を展開することにより、住民ニーズに対応した多様で個性的な地域づくりを行い、国民が豊かさゆとりを実感できる生活を実現することができるよう、財政面の自立度を高めるための改革ですが、改革の初年度である平成16年度は、国の財政再建のみを先行させた地方分権には程遠い内容でありました。

そうした中、本町におきましては、4月に玄海海上温泉パレアがオープンし予想を上回る入浴者が町内外から沢山お見えになりましたが、まだまだ少子・高齢化が進む中で、福祉・保険制度の充実、生活環境や教育基盤の整備、産業の振興など、

解決すべき問題が山積しており、本年1月1日からは新唐津市が誕生しますが、合併をしない本町にとつては、これからますます知力と体力が要求され、その真価が問われることになると考えられます。

私ども町議会は更に豊かで住みよい魅力と活力のある町をめざして、行政のチェック機能、議決機関として審議を重ね、議会としての基本姿勢を守り町民の期待に応えてまいります。

何卒、本年も町民皆様の一層の御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご繁栄を祈念し、年頭のあいさつといたします。

小さくても輝きのあるまちを

ホームステイ体験報告

中学生
海外派遣
事業

「04年の夏に、

君はどんな体験をしてきたのか？」



「ホームステイを通して」

値賀中学校 2年 溝上 はづき

今回のホームステイで私は沢山の事を身につけて帰ってくる事ができました。ホームステイには将来の夢に少しでも貢献できればと思い参加したのですが、目的以外にも沢山の事を学びいろいろな事に挑戦する事ができたのでアメリカに行つて本当によかったと思います。私がこのようになすばらしい一ヶ月間のホームステイ体験をする事ができたのもこの玄海町民のみなさんのおかげだと深く感謝しています。

本当にありがとうございました。

私はアメリカの生活の中で心に残っている出来事があります。その日はYuba Cityという街のプールにクラスみんなで泳ぎに行った日の事でした。いつものようにお母さんが車で迎えに来てくれました。しかしいつもは二人の弟が後の席に座っているはずなのにその日は、二人の弟と一人の女の子が座っていた

ので、私はきっと親せきの子供だと思ってお母さんに知っている限りの言葉を使つて「あなたの兄弟の子供？」と聞きました。しかしお母さんは「NO」と言つたので言葉が通じなかつたのか、お父さんの兄弟の子供だと思ひもう一度聞いてみましたが、やっぱり返事は「NO」でした。

家に着くとお母さんは辞書を開き、私に「あの子は、これだ」と辞書を指さしました。そこには養子という言葉が書いてあり、とてもおどろいてみると、「だからこの子はあなたの兄弟になるのよ。」と言われて、おどろきを隠せないでいるとお母さんは「おどろいてしょう？でもこの子は、目も開いてない、髪だって生えていないうちにこの家に来たのよ。」と弟のJoshuaを抱いて言いました。私は信じられずにその場でじつといういろいろな事を考えました。うちのDadとMomは自分の本当の子供で

もないのに本当の子供のように育てることが出来るDadとMomから血は繋がっていないけれど私達は家族なんだという思いが伝わり私の目から涙が溢れてきました。その涙はアメリカで初めて流した涙でした。結局私の兄弟全員が養子であることが分かり、その日来た女の子は三日程私達の家で暮らし元住んでいた所に帰ってしまいました。私のDadとMomがこんなに優しい心の広い人だと初めて知りました。こんなDadとMomに会う事ができたのもみなさんのおかげだと感謝しています。本当にありがとうございました。





「アメリカに行って」

有浦中学校 2年 宮崎 勝崇

僕は始めは、ホームステイには参加したくありませんでした。だから、両親や先生にすすめられるまま、教育委員会の面接を受けて参加する事に決まった時は嫌でしたがトランクに荷物を詰める間わくわくしていました。

僕がステイした家は近所との付き合いが全くありませんでした。しかし、家がとても大きく家族もたくさんいました。みんなとても優しく本当に最高でした。アメリカでの生活はとても楽しかったのですが、楽しいという言葉では表現できません。楽しいの10倍ぐらい楽しくすばらしいものでした。一ヶ月経って日本に帰らなければいけなくなりトランクに荷物を詰める間「本当に楽しかったな。一ヶ月なんてあっという間だったな。」と思っていました。

アメリカの生活にやっとなじんできたところだったので、とてもつらく残念でした。大変すばらしい体験ができて本当によかったと思い玄海町、教育委員の方々、両親にとっても感謝しています。

ただ少し残念だったのは、あの優しい家族とあまりコミュニケーション

ンをとることが出来なかったということです。自分にもっと英語力があればもっとたくさんコミュニケーションがとれたと思います。英語をもっとしっかり勉強して今度は自分の力でまたあの家族の所に行きたいなと思います。本当にありがとうございました。



平成16年 玄海町議会第4回定例会報告

平成16年第4回玄海町議会定例会は、12月7日に開会され、12月10、13日に一般質問が、13日から15日まで予算特別委員会が、16日本会議が開催され、特別養護老人ホーム設置条例の一部を改正する条例など24議案が審議され、原案どおり可決され、同日閉会しました。審議された議案等は、次のとおりです。

条例改正

■特別養護老人ホーム設置条例の一部改正

新しく平尾地区に建設する特別養護老人ホームの管理運営を地方自治法で規定される指定管理者(民間の持つノウハウや活力を活かし、住民へより良いサービスの向上と行政コストの縮減等を図る目的で創設されたもの)制度を導入したものです。なお、この条例は、一部を除き、新しい老人ホームの開園に合わせて施行されます。

■議会の議員の定数を定める条例の一部改正

急変する社会情勢、町の財政状況の見通しを勘案したとき、行財政の改革を断行することが必要であり、自らが議員定数を削減し、その姿勢を示すことにより町政に寄与すべきとの見解から、議員提案により、議員定数を減少させる議案が提出されました。現在の16人から4人減らし、12

人としたものです。なお、この条例は、次の議会議員選挙(17年度)から適用されます。

補正予算

■一般会計補正予算(第4号)

○補正予算の総額

一四四、一二三千元
(補正後の歳入歳出予算の総額) 六、八七三、八五三千元
○補正予算の主なもの

- ・ 国民健康保険特別会計繰出金 一二、八〇一千元
- ・ 児童手当 一一、八四五千元
- ・ 魅力あるさが園芸農業確立対策事業費補助金 六一、九〇二千元
- ・ 肥育素牛生産拡大対策事業費補助金 八、五二六千元
- ・ 上場土地改良事業記念碑設置補助金(長倉換地区) 一、〇〇〇千元
- ・ 農地農業用施設災害復旧費 五、八六九千元

その他

■損害賠償の額を定めることについて

ごみ収集車による対物事故について、その賠償額について、議会の議決を求めたものです。

・ 賠償額 一、六八〇千元
なお、その全額が加入保険から補填される予定です。

■一部事務組合の解散及び財産処分について

廃置分合により平成17年1月1日から、新しい唐津市が誕生することから、これまで1市7町2村で組織していた広域市町村圏組合、肥前町と組織していた斎場組合などを12月31日をもって解散し、財産処分をすることについて議会の議決を得たものです。

- ・ 解散する一部事務組合
 - ・ 東松浦競艇組合
 - ・ 唐津・東松浦広域市町村圏組合
- ・ 上場農業開発事業組合
- ・ 肥前町・玄海町共同斎場組合

なお、これらの組合が行っていた事務については、介護保険、戸籍事務を除き、新しい唐津市が事務委託を受け入れるということで、協議が整いました。(12月22日に議会臨時会が召集され、事務委託について議決されました。その詳細については、次号において掲載します。)

平成17年 玄海町成人式



日時：1月5日(水) 11:00～
場所：玄海町町民会館

平成16年分の法定調書の提出期限は 平成17年1月31日(月)です

主な法定調書はつぎのとおりです。

- ◎ 給与所得の源泉徴収票と給与支払報告書
- ◎ 退職所得の源泉徴収票と特別徴収票
- ◎ 報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書
- ◎ 不動産の使用料等の支払調書
- ◎ 不動産等の譲受けの対価の支払調書

※ 法定調書の用紙は、税務署の窓口でお受け取りください。

また、国税庁のホームページ【税務手続の案内→その他(法定資料関係)】から印刷することもできます。

<http://www.nta.go.jp/>

詳しくは、唐津税務署(72-3141)までお尋ねください。